

知道 CHIDO-KAIHO 会報

85

編集 知道会広報委員会
〒310-0011水戸市三の丸3-10-1
茨城県立水戸第一高等学校内
発行人 角田芳夫
発行日 平成26年10月1日
通巻 第85号
メール chidokai_mito@chidokai.jp

| | | |
|----|-----------|--------------------|
| 目次 | 会員の集い | 2 |
| | ヒロインに聞く | 三森千愛さんインタビュー 3 |
| | 一高だより | 地理オリンピック世界大会出場ほか 4 |
| | 学年・地域等知道会 | 笠間知道会ほか 6 |

日系人収容所体験者が 本校で講演

田中朋子(昭63卒)さんがサポート

6月28日(土)午後1時半から3時半まで、知道会館2階会議室に、日系人収容所体験者でプロスピーカーのアリス・ヒライさんをお迎えして、在校生希望者を対象に講演会が開催されました。試験を来週に控え

令。1942年2月19日、ルーズベルト大統領が特別法令9066号に署名し、西海岸の日系人は、2週間の猶予での立ち退きと、「移民センター」(強制収容所)への移送が決まります。

しかし、アリス・ヒライさんは「あまり収容所で酷い目にあったという記憶はありません。それは大人たちが子どもたちを守ってくれていたからです」と語っていました。ただ、癌を患っていて、後から移送されたお祖母さんへの扱いは忘れられないそうです。

「祖母は住んでいたところから引き摺りだされ、トラックの荷台に載せられ、そこから路上に放り出されました。……そのときの怒りは、私が乗り越えなければならなかったものです」。



アリスさんを紹介する田中朋子さん(昭63卒)

<在校生からの感想>

1年生の八重樫美穂さんは日系人たちが移送にあたって示した、「どんな辛い状況でも、自分の尊厳を失うな」という姿勢に「強く胸を打たれ」たそうです。2年生の横須賀咲紀さんは、「このようなことは二度とあってはいけない、その思いが私たちの心にしっかり伝わってきて」「過去の悲劇を伝えていくことは大事なのだなあとと思いました」と綴ってくれました。

(講演会の詳細は知道会ホームページにアップしています)

(知道会広報副委員長 宮内記)



家族の写真を説明するアリスさん

ながら30名を超える在校生が参加。講演に先立ち、小田部幹夫校長から、歴史を学ぶ必要性が述べられました。主催はアメリカユタ州在住の田中朋子(昭63卒)さんが代表を務める「アリス・ヒライ講演会をサポートする会」と知道会昭59卒有志のネットワークです。

<アリスさんの講演>

アリス・セツコ・ヒライさんは1939年、サンフランシスコに生まれ、3歳から5歳までユタ州トパーズ収容所で生活しました。

1938年、FBIのフーパー長官が、西海岸12万6千人を超える日系人の、特にリーダーたちの監視を命

会員の集い 11月22日(土)開催

平成26年度「知道会会員の集い」を次のとおり開催します。今年の担当学年は、昭58卒、平5卒、平15卒の皆さんです。多数のご参加をお待ちしています。

参加される方は、同封の振込用紙「会員の集い参加申込用」により、出席会費(5,000円)をお振り込みください。

日時 平成26年11月22日(土)
午後2時20分～6時

場所 水戸京成ホテル
水戸市三の丸1-4-73
電話029-226-3111

会費 5,000円

※平21年3月卒以降の方は無料

本年度の会員の集いの企画は、昭和58年卒による座談会。女性会員が多数集結し、社会に、そして知道会活動に女性の参加を促そうと、400名の参加者を目指して準備中です。乞うご期待!

集いの後に、ムーランで「水戸一女子会」の貸切りパーティを開きます。詳しくは、知道会HPをご覧ください。

今年の会員の集いは 58卒女子が集結!

本年度『知道会会員の集い』講演会についてお知らせいたします。伝統的に男子生徒の比率が高かった母校・水戸一高も、時代とともに女子の入学者が増え、現在では在校生の約半数が女子で占められています。それに伴い、知道会でも徐々に女性会員の比率が高まってきました。

折しも社会全体で男女共同参画の必要が叫ばれています。知道会においても、男性のみならず女性会員の主体的な参加を促すことが、今後の会の繁栄にとってきわめて重要なポイントといえるでしょう。

そのような中、私たち昭和58年卒一同は、女性会員の活躍ぶりに焦点を当て、知道会の更なる発展へつなげていきたいと考えました。わが同期女性陣が登壇し、座談会形式で、日々の仕事ぶりや家庭との両立について縦横に語ります。

昭58卒女子 私たちのハンセイキ… 半世紀?! 反省記??

(敬称略、カッコ内は旧姓)

| | |
|-----------|----------------|
| 秋元(角田)裕子 | 歯科医師 |
| 大塚(田中)千裕 | 薬剤師 |
| 芳賀(小野瀬)厚子 | 産業医 |
| 向(蛭町)多美子 | 弁護士 |
| 山内(市川)直子 | ヴァイス プレジデント |

司会：面澤淳市

(雑誌「プレジデント」編集者)

- ①どんな仕事をしていますか?
- ②その職業を選んだきっかけは?
- ③仕事で男性との違いを感じることは?
- ④女性がもっと活躍するため必要な

ことは?

当日は、58年卒女性会員が多数集結いたします。各学年の皆様も、例年に増して女性会員の参加を促していただき、華やかな『知道会会員の集い』となるようご協力ください。400名以上の参加を目指します。どうぞよろしく願いいたします。



女性会員の皆さん、 来て損はしませんよ!

今年の幹事、平成5年卒は、イ・ソリスティ・イバラキ室内合奏団の演奏を高校時代にたしなみ、耳の肥えた面々です。

その平成5年卒がお贈りする今回の企画は、我らの同級生、ソプラノ



石田寛和君による魅惑の
サクソ演奏

サクソプレーヤー・作曲家である石田寛和君による魅惑のサクソ演奏です。この男、イケメンです。

石田君を中心とするジャズプロジェクト

trance katz〈トランス カッツ〉で活躍中で、クラシック音楽の発祥地でもあるヨーロッパ文化の肌合いを好み、クラシックとジャズを融合した曲を作曲しています。

皆さんおなじみの水戸ホーリーホックの応援歌「走れ☆ホーリーホック!」のホーンアレンジとサクソを担当し、その後、4枚のオリジナルアルバムを発表、2011年には、「美男子JAZZ」にて、国内若手14人の若手イケメンジャズプレーヤーの一人として紹介されています。

サクソと言えば、武田真治しか知らないふつつか者が紹介をしますので、あしからず。武田真治と言えば、最近、殻を破り、キン肉マンのマスクをかぶって、裸でサクソを吹いていますね。わからない人が多いと思いますが……。

今回の奏者の石田君、そんなおちゃらけた感じは、一切ありません。高校時代は「平べったい」と皆に親まれ、大晦日に警察官に職質されたりしていましたが。

優しいメロディと透明感のある和声の特徴とした、ヨーロッパの街角を連想させるような、メロウでビッドで愛嬌たっぷり(?)な石田ワールドをお楽しみください。

第63期第32回代議員会

第63期（平成25年10月～平成26年9月）第32回代議員会が、平成26年5月24日（土）14時から知道会館2階会議室において開催されました。審議等概要は以下のとおりです。

- (1) 栗原幹事長、粉川総務委員長、根本財務副委員長、奥野名簿委員長、和田広報副委員長、富永親睦委員長から、当期事業が概ね順調に進捗している旨報告された。
- (2) 根本財務副委員長より、会費収入・事業支出等収支はほぼ予定通り推移しており、引き続き会費納入率向上・口座振替の促進に努めたいとの説明があった。
- (3) 生徒海外派遣プログラムに関して小田部校長の経緯説明の後、3月8日～13日にかけて実施したシンガポール現地研修について生徒8名（当時1年生）により報告がなされた。語学力向上と異文化理解を深めることができ、本成果を今後に繋げたいと結ばれた。
- (4) 第64期（平成26年10月～平成27年9月）第33回代議員会を、平成26年11月22日（土）、13：30から水戸京成ホテルで開催することとなった。

山本 徹（平11卒）

バロックチェロリサイタル

東京藝術大学卒業後、チューリッヒ留学。故郷・茨城、水戸芸術館に感謝を込めた演奏会。

日時／11月30日（日）15時開演（14時30分開演）

会場／水戸芸術館コンサートホールATM

バッハ 無伴奏チェロ組曲第1番 ト長調 BWV1007

ドメニコ＝ガブリエッリ 7つのリチェルカーレより

バッハ 無伴奏チェロ組曲第5番 ハ短調 BWV1011

チケット／3,000円（学生1,500円）

全自由席 発売日：9月27日（土）

取扱い：水戸芸術館エントランスホール・チケットカウンター
水戸芸術館チケット予約センター
TEL. 029-231-8000

ヒロインに
聞く

三森千愛さん

インタビュー

帝国劇場から始まり全国で上演中のミュージカル「ミス・サイゴン」のエレン役・三森千愛さん（平9卒）の活躍がめざましい。平成19年に劇団四季入団、20年「ライオンキング」女性シンガーソロ、25年「レ・ミゼラブル」ファクトリーガール役、26年「ミス・サイゴン」エレン役とキャリアを積んでおり、今後が期待される。「ミス・サイゴン」は8月まで帝劇で、以降は新潟、名古屋、大阪、福岡、横須賀と続く。

インタビュアー 橘川 栄作
（広報委員 昭56卒）

○「ミス・サイゴン」出演のきっかけを教えてください。

●昨年「レ・ミゼラブル」のオーディションに合格しました。オーディションには約15,000人が参加し、約80人が合格しました。その「レ・ミゼラブル」が上演されている頃「ミス・サイゴン」の追加メンバーのオーディションを受けました。エレン役のダブルキャストが劇団四季の先輩で大スターの木村花代さんでしたので、正直緊張しました。

○その後はどんな感じで、進んでいったんですか。稽古とか。

●稽古が始まったのが5月末。週5日稽古です。最初の1週間は歌稽古で4時間、その後の稽古は基本的に11時から夕方6時まで行いました。今回はエレンのキャラクター・役柄も変わったので、様々な資料を見てエレン役を考えました。また、共演の市村正親さんの、初演から出演なさっているにも関わらず常に新しく役柄を考えていくという姿勢はとても勉強になりました。

○高校時代に今の自分は想像できませんでしたか。



2014年「ミス・サイゴン」の舞台写真
（東宝株式会社演劇部提供）

●今の自分になるとは想像もしていませんでした。高校3年の時に劇団四季の「ライオンキング」を観て、ミュージカルの世界に行きたいと思いました。その後大学に進学してミュージカルサークルに入り、ミュージカルの専門学校にも行っていました。大学時代もオーディションを受けましたが受からなくて。2007年に劇団四季のオーディションに受かってから本格的にミュージカル女優を目指しました。

○その後大変だったんですね。

●のどを壊して手術することになってしまって。治ってもしばらく歌うことが怖くて1年半ぐらいはアルバイトをしていました。でも、やっぱりミュージカルが好きなんだと思いました。そして、ミュージカル「ひめゆり」で“みよ役”で出演することになり、好きなことをやれる幸せを感じました。

○これからはどのような活動をしていきたいですか。

●ミュージカルに限らず舞台や映画など映像関係にも挑戦したいです。自分の可能性や活動を狭めないで、表現できることはなんでも、チャリティ活動などにも挑戦したいと思っています。今年の2月には、ネパールの孤児院でボランティアコンサートを行って、子供たちと「音楽」を楽しんだ時に強く自分の使命を感じました。

○最後に後輩へのメッセージをお願いします。

●高校時代は本当に楽しかったなと思っています。歩く会もやっているときはしんどかったですが今では素敵な思い出です。（笑）皆さんには、この時間を大切に、まさに宝物の時間なので、楽しんで、そしてこれからも夢を持ってがんばってください！

このページでは、この夏、全国レベル以上で活躍した個人・団体の紹介をします。

地理オリンピック 世界大会出場

ポーランドの古都クラクフで、8月中旬に行われた第11回 国際地理オリンピック (The 2014 iGeo) に日本代表の一人として飯島鞠瑛 (36組) が参加した。

本大会は世界36か国から144名の生徒が参加して行われた。メダルを受賞することはできなかったが、世界のレベルに触れ、「自分自身で論理的に考え、意思決定を行い、何かを作り上げていくことが大事」であることを感じて帰国した。

山岳部

全国高校総体登山大会は神奈川県箱根町で開催された。本校は40年ぶりの出場である。

箱根カルデラの外輪山と中央火口丘を3日間縦走し体力を競うほか、幕営・地形図読図の技術や気象・救急などの登山に関する知識も審査され、総合点で順位が決定する。

本校は92.1点37位であった。順位は低かったが得点は上位校と僅差で、生徒は失点を悔しがっていたが、同時に力を出し切った充足感を味わっていた。

フェンシング 2年連続総体出場 南関東総体男子フルールBest16

8月1日より神奈川県立体育センター (藤沢市) で開催された南関東総体フェンシング競技男子フルールの部に安雅人 (26組) が出場し、Best16の健闘を見せた。総体への出場は2年連続となる。

予選を順当に勝ち進みBest8をかけたトーナメント戦で、今大会の優勝者で太田雄貴 (五輪銀メダリスト) 以来の総体三連覇を果たした松山恭助選手 (東京・東亜学園3年) と対

戦し7対15で惜敗。敗れはしたが、この部門における次年度メダル候補であることを強く印象づけた。

少林寺 インターハイ出場

8月7日から成田で行われた南関東総体2014の茨城県代表として前澤遼河 (25組) が出場した。

茨城県予選で上位入賞を果たし、関東大会出場と、少林寺として記念すべき第1回インターハイの出場権を手にした。

8日に行われた予選では、強豪校の中にあっても億することなく演武を終えることができたが、あと数点という僅差で惜しくも準決勝進出を果たせなかった。

来年の大会もあり、今後の活躍が期待できる。



クイズ研究同好会

第34回全国高等学校クイズ選手権の関東大会 (予選) が、7月29日に東京都お台場で開催され、鈴木崇弘 (34組) と小池光 (32組) のチームが激戦を勝ち抜き茨城県代表となった。残念ながら本大会では、8月3日の1回戦で敗退となり、2回戦以降の「アメリカ行き」は逃したが、全国の精鋭と堂々と戦い善戦した。

今後は、来年度のさらなる飛躍を心に誓い日々精進していきたい。

化学グランプリ2014 銅賞 飯田 航

昨年は一次選考を通過できず (ボーダーは得点率75%以上)、悔し

い思いをしたが、関東地区成績優秀者として日本化学会関東支部奨励賞をいただき、雪辱を期していた。

本年は2度目のチャレンジということで、見事に一次選考を突破し、二次選考に駒を進めた。そして、8月22~23日に東北大学川内キャンパスで行われた、実験をともなう記述式試験 (4時間) に挑んだ。

実験の構想 (方法や条件設定) に手間取ってしまい、まとめる時間が足りなくなり、十分な考察をすることができず、少し悔いが残った。

全国から集まった73名の挑戦者と有意義な交流を持つことができたことに感謝し、この貴重な体験を今後の糧としたい。

物理チャレンジ

8月19日から岡山県で行われた「第10回全国物理コンテスト物理チャレンジ2014」の第2チャレンジに、菅野颯人 (33組) が参加した。3泊4日の合宿形式で行われ、2日目に5時間の理論問題、3日目に5時間の実験問題に取り組んだ。

残念ながら入賞は果たせなかったが、全国から集まった参加者との交流や様々な物理に関するイベントなどを通して、とても良い経験ができた。

全国高等学校総合文化祭 いばらき総文2014

棋道部

本県開催「いばらき総文2014」の囲碁部門 (7月30~31日・県武道館) において、海野壘 (35組) が昨年に続き出場し、団体戦茨城県チーム (3名) の副将の任を果たした。結果はチームとして3勝3敗19位であった。

また、1・2年生部員全員で将棋、囲碁部門の運営委員をつとめた。部の活動目標は将棋・囲碁の対外戦勝利であるが、現在は囲碁をする部員が減少しており、将棋でも全国的活躍ができることを期待している。

化学部

全国高校総文祭4年連続出場

自然科学部部門が新設されて以来、4年連続の出場となりました。今年は茨城県での開催ということもあり、今村優吾(31組)、鈴木佳太(35組)、村上寛樹(34組)の3名が研究発表(化学)の茨城県代表に選ばれ、口頭発表を行いました。

それぞれ3名の生徒達は自分たちの研究内容を楽しそうに伝えることができました。全国規模の場で発表する機会を頂いたことに感謝し、今後のさらなる活動の励みとします。

生物同好会部

生物同好会部を代表して、岡野凌平(14組)が7月28日~30日につくば市で行われた全国高等学校総合文化祭自然科学部門に於いて、茨城県代表としてポスター発表を行った。

各地で絶滅危惧種に指定されているアキノギンリョウソウの発芽実験結果を中心に、来場者への説明を行った。実物の標本等を用意し、「大変わかりやすかった」とのコメントなどをいただくことができ、貴重な経験となった。

美術部

「いばらき総文祭2014 美術・工芸部門」は7月下旬、地元水戸市の県近代美術館および県民文化センターで開催された。本県代表の一人として佐川日南乃(37組)が油絵50号の大作「夏を探して」を出品した。

また佐川は開催県としての部門実行委員長、荒井美祐(33組)は副実行委員長を務め、全国からの出品者、来場者を運営側でもてなした。50年に一度の本県開催で、部員一致団結して活躍できたことは誇りである。

吹奏楽部

7月30~31日に県民文化センターで開催された「いばらき総文2014吹奏楽部門」に茨城県の代表として、

本校から池田慶人(33組)・澁谷風司(38組)・伊藤大智(25組)・當波夏菜(25組)が参加した。

県内から選抜された茨城県高等学校選抜吹奏楽団は29校78名の大編成で、心を一つにして演奏することが難しい中、少ない練習会や合宿で団結力を高め、演奏会に臨んだ。演奏は生き活きとした演奏となり、達成感を得ることができた。

放送部

NHK杯全国、全国高校総文祭出場

7月21日~24日、東京渋谷で行われたNHK全国放送コンテスト全国大会に、ラジオドラマ部門、テレビドラマ部門で出場した。初戦敗退と苦い結果になってしまったが、全国の最高峰の技術を間近で見ることができとてもよい経験となった。

また同月末には日立市でいばらき

総文が開催され、アナウンス部門で石井美奈(37組)、高田裕香(38組)が、作品部門はビデオメッセージ、オーディオピクチャーが出演した。運営にも携わり、有意義な大会となった。

アマチュア無線同好会 全国高校総文祭入賞

「いばらき総文2014アマチュア無線部門」で、男子の部に井上正喜(32組)、増田太陽(33組)、清水啓太(36組)、横山達也(21組)の4名、女子の部に宮下楓子(32組)、茅根有美香(34組)の2名、(男子団体は男子個人の選手から井上、増田、清水の3名を登録)が参加し、男子個人3位に清水、女子5位に宮下が入賞し、男子団体は全国2位に入賞した。

全国大会入賞を成し遂げて3年生は引退をしたが、1・2年生の今後の活躍が期待できる。

恩師を囲んで 稲葉節生先生



8月16日、昭和54年度水戸一高26組の同窓会を行いました。2年次の会は珍しいですが、理由があります。受験のギスギス感なしに青春を謳歌していたことに加え、水戸一高で初担任となった稲葉先生がクラスを大いに盛り上げて下さったからです。

同窓会は、出席者の近況とその後の半生の発表を聴き、欠席者のコメントを読むことで進みましたが、先生が、当時私たちが贈った「感謝状」を取り出すと、全員がその時代にタイムスリップ、高校生に戻り些細な噂話にまで花が開きました。先生の教育精神は指導する立場になった私達の心に宿っているという趣旨の新たな感謝状をお渡しして、一次会は閉幕しました。

新たな感謝状を贈る、そして、この原

稿を書くにあたり、先生の御息(現茨城県教員)に桜井がインタビューをしてみました。

桜井「私達の贈った感謝状をご覧になったことがあると聞いています。息子さんから見てお父様の尊敬するところは？」

稲葉JR先生「生き活きと学校の話をする父は格好良いと思いましたが、憧れでもありません。純粋に生徒と同じ目線で楽しく触れ合える父の姿は、私の目標になっていたのかもしれない。」

「ただ、学校現場で生徒達と居続けることを望んで教員職に就いたので、その期間が短かったのは本意だったと推測しています。二人の姉も教員をしており、父の前で現場の話をするとうれしそうに羨ましうに聴いているんです。」

「父には強い教育の信念があると思います。それは生徒の意志や自主性を重んじること。水戸一高の校長時代には東大進学率を上げるという方針もとれたのですが、それは水戸一高のカラーじゃないと断固として拒否していました。私も姉たちも父に教員になれと言われてなつつもりは毛頭ないんです。」

『至誠一貫』 相手目線が至誠なら、志を尊重するのが一貫、この歳になり二人の稲葉先生からその真意を教わりました。

桜井 清(昭56卒)

笠間知道会

平成26年度知道会笠間支部会総会は、去る6月14日(土)、市内の「割烹城山」にて開かれました。

講演会では、笠間市産業経済部長・神保一徳氏(総務省)を講師に迎え、「地方行政と笠間について」をテーマに、焼き物や石材、笠間稲荷神社などの観光資源に加え、農業や食、特に粟や米、酒といったこれから注目したい笠間市の魅力的なツールと、それを生かしながらの今後の笠間の展望について興味深いお話をいただきました。

また、今総会において、会の名称を「知道会笠間支部」から正式に「笠間知道会」に変更、同時に石本誠氏(昭33卒)が新たな会長に就任いたしました。



岩間知道会

平成26年度笠間市岩間知道会(中村彦蔵会長)定期総会が、去る7月6日(日)、24名の方々が参加して、盛大に開催されました。当日は、角田芳夫知道会会長をはじめ、市内笠間地区、友部地区の代表の方々の参加をいただきました。

9月27日(土)に、知道会親睦委員会主催による「ミニ歩く会」が岩



間を会場に開催されることもあり、懇親会も大いに盛り上がりました。

茨城町知道会

平成26年度茨城町知道会総会を、6月29日(日)午後2時から、茨城町の「柴龍」で開催しました。

総会は、物故者に対する黙祷の後、佐藤方彦会長の挨拶で始まり、続いて古平恒夫 知道会事務局長から、進学状況・知道会の現況等の報告をいただきました。議事に入り、平成25年度会計決算報告・26年度会計中間決算報告等があり、滞りなく総会を終了しました。

総会後の懇親会では、出席者の近況報告があり、藤田幸久氏との意見交換も行われ、最後に校歌を斉唱、母校の発展を祈念し、散会しました。

(海老澤(昭60卒) 記)



友部知道会

再発足7年目を迎えて

7月13日(日)、駅前の割烹「須藤」にて、平成26年度の定期総会及び講演会を開きました。参加者は、会員26名、来賓として本部から古平事務局長と笠間地区、岩間地区の代表の方々、4名をお迎えました。今回の総会では、2年に一度の役員改選があり、新しい顔ぶれとなりました。新会長として中庭秀樹氏(昭37卒)が就きました。古賀氏、永井氏に続いて、3代目の会長が生まれました。苦節7年、なんとなく友部知道会も一人前になってきた感があります。

来賓を代表して、古平事務局長の



挨拶があり、母校・水戸一高の現状をお話いただきました。本部の行事「ミニ歩く会」は、本年のコースを岩間地区の愛宕山周辺としますので、協力を願いたいと結びました。笠間市で初めて行われるので、地元の我々もぜひ参加したいと考えます。

講演会の講師は、友部セントラルクリニックの飯島秀郎先生。専門の糖尿病の話に皆熱心に耳を傾けていました。

最後は盛大な懇親会。先輩も後輩も入り乱れて酒を酌み交わし、互いに話を花を咲かせました。

鶴田信晃(昭39卒)

土浦水中一高会

平成26年度の土浦水中一高会が、寺門征二会長のもと38名の参加を得て平成26年7月12日(土)午後5時から土浦市城北町にあるホテルマロウド筑波で開催されました。

今年の講演は、47年度卒の櫻村博正医師(内科医)が「胃炎」や「胃潰瘍」「胃癌」の実態やファイバースコープ等の進歩状況を踏まえながら画像を提示し、素人にもわかりやすく講演してくれました。

最後には水戸一高時代に教わった水戸学の大家「名越時正先生」の最後の授業の言葉についてもふれ、会場の聴取者の方々の思い出にもなりました。

長老であります後藤様の音頭で乾杯の発声を受け、宴は和気藹々の中、約1時間30分行われました。締めは水戸一高元応援団でありました医師

の一色様の指揮で校歌斉唱を行い散会となりました。

(代表幹事 柴山 光 (昭47卒))

みつば知道会

J2水戸ホーリーホックの応援

地元チームの水戸ホーリーホックは名将柱谷監督の下で健闘中。8月24日(日)第28節の対愛媛FC戦を有志十数名にて、真夏のナイターをケーズデンキスタジアム水戸の中央バックスタンドで堪能した。(ケーズデンキ社長の遠藤裕之氏は昭42卒)

前半終了後には花火もうちあげられ常磐大学コラボデーの当日はさながらお祭り騒ぎであった。試合後半には期待のかかる新加入のオズマールも登場し、爆発的なスピードを披露してくれた。

試合はホーリーホックの再三再四のシュートも実を結ばず0-0の引き分けで終わってしまったのは残念であったが、これからも毎年8月のナイターの応援を続けていきたいと願っているので知道会員の方々の参加を望んでいます。

堀江 効 (昭34卒)



下市知道会

下市知道会の会長を仰せつかって、3年余りが過ぎます。活動としては、5月頃に年一回の総会と会員による講演会を一緒に行っております。

先日は、茨城大学の名誉教授の32年卒業の鈴木暎一先生に弘道館廻りの改修についてお話をして頂きました。

た。総会は、約30名の出席で終了後は、恒例の「魚兼」にて懇親会を行いました。

又、3年前から懇親ゴルフ会を企画し、幹事は44年卒業のシングルハンドの後藤さんをお願いし、楽しいゴルフ会となっています。今後は、他の知道会との共催のゴルフ会にしてはと考えております。

又、地域貢献事業として地元吉田神社の秋季例大祭への寄付を予定しております。地域の活性化に少しでも協力できればと考えております。

本会の悩みとしては、総会・ゴルフ会等の出席者を集めることがなかなか難しく若い世代の人たちへ引き継いでいきたいと努力しております。皆様のご支援をお願い申し上げます。

早川富二雄 (昭39卒)

行餘学会 「貸切ビア列車」

那珂湊に嫁いで26年。何度もお誘いの通知が届いていたが終ぞ参加したことのない行餘学会の行事に、今回初めて参加した。かつて登下校でお世話になった、ひたちなか海浜鉄道「湊線」の「貸切ビア列車」での親睦会である。

残暑厳しい8月23日(土)。参加者



は男子32名、女子3名。乗車前にひたちなか海浜鉄道社長の吉田さんから、廃線の危機そして震災を乗り越えて現在に至る道のりと、未来に向けたお話を聞き、いざ乗車。向かい合わせのベンチ式の座席の通路にテーブルが固定されていて、生ビールは飲み放題。

新参者の私も、だてに26年暮らしてなかった!「え〜っ!そうだったんですか?」と思いがけない繋がりを発見するひと時だった。「阿字ヶ浦駅には〇分停車しまーす。」それから勝田駅まで引き返し、また那珂湊駅に戻るまで正味1時間半。車窓を眺める暇もないほど、皆さん話が弾んでいた。

那珂湊駅の下り線のホームで、青山さん(昭54卒)の音頭で校歌斉唱(笑)・解散。湊線の収益に一役買うことも出来た楽しい親睦会だった。

森田真理子 (昭56卒)

水戸一高サッカー部創部90周年記念事業を開催

平成4年卒 塙 英敏

2014年8月16日(土)茨城県立堀原運動公園並びに水戸三の丸ホテルにて水戸一高サッカー部創部90周年記念事業が開催されました。当日は150名を超えるOB・OG並びに現役サッカー部員が一堂に会し、脈々と受け継がれる一高サッカー部魂を確認しあう貴重な機会となりました。堀原運動公園では、卒業年度対抗ミニサッカー大会が開催され、ヤングリーグ・オールドリーグに分かれて、皆それぞれの“あの頃”を思い出しながら汗を流しました。特に、高校時代の先輩の代・後輩の代との対戦は格別で、プ

レーにも歓声にも力が籠りました。三の丸ホテルで開催された記念式典では、小田部校長先生並びに歴代監督を務められた先生方を来賓に迎え、サッカー部への期待や当時の思い出話などをお話し頂きました。90年にわたる歴史は、高校生当時サッカーに没頭した時間の共有で繋がっています。100周年に向け、現役サッカー部の益々の発展とOB・OGの更なる活躍を祈念致します。



今年の「会員の集い」

卒業6年目以下の方は無料です

会員の集いの活性化を目指し、若年会員の参加を促すため、初の試みとして知道会会費納入の初年度となる卒業6年目（今年は平成21年3月卒業）以下の若年会員の参加費を無料とすることに致しました。

この施策の財源として、集い当日に配布するパンフレットを作成し、これに掲載する広告の収入を充てることに致しております。現在、広告を募集中（10/15締切）です。掲載希望の方は知道会ホームページをご覧ください。

なお、会員の集いは同封の振込用紙にて事前に参加費をお振込みいただくことで参加申込みと致しておりますが、平成21年3月卒業以降の会員の皆様は参加費の振込みは不要ですので、参加の旨をメールまたはFAXにて知道会事務局まで必ずご連絡下さい。

実行委員会では講演会・懇親会の企画を充実させ、より多くの、幅広い年齢層の会員の皆様に楽しんでいただけるよう引き続き検討を重ねて参ります。「会員の集い」への数多くの会員の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

財務委員会

会費の口座振替で母校助成の充実を

新たな母校助成の一環として生徒海外派遣事業が実施されましたが、この事業の助成は震災義援金の剰余金を活用したものです。知道会員の皆さん、この素晴らしい事業を今後とも継続できたらOB会冥利に尽きると思いませんか。

その為には、多くの会員の皆様からの安定した会費の納入が必要です。知道会では会費納入に際しての煩雑さをなくすため、利便性の高い金融機関口座振替を用意していますので、口座振替納入を希望する会員の方は、年会費振込用紙のメモ欄の「口座振替依頼書希望」の箇所にチェックを入れて下さい。後日、申込書をお送りいたします。

親睦委員会

第35回知道会ゴルフ大会

知道会ゴルフ大会を6月5日（木）に60名の参加をいただき大洗ゴルフ倶楽部で開催いたしました。最年長は昭和27年卒の大先輩から最年少の平成2年卒の若手まで、それぞれの皆様が同窓の仲間との楽しいひとときを過ごされました。

結果は、シニア部門優勝・田中襄二様（昭29卒）、レギュラー部門優勝・中本邦彦様（昭45卒）でした。おめでとうございます。

来年は、まだ場所は決定しておりませんが、例年通り6月初旬の土曜日に開催する予定です。詳細は知道会ホームページで告知致しますので、皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

映画館へ行こう

「蝸ノ記」が10月から全国上映

小泉堯史監督の「蝸（ひぐらし）ノ記」完成を祝って、同級生の小野邦夫氏と松下賢二氏（両氏とも昭39卒）が世話人となり、試写会及び同監督を囲む会が9月26日（金）シネプレックス水戸と水戸京成ホテルで開催された。

葉室麟原作の直木賞受賞作を映像化した本作は小泉監督の第5作目で「日本人の美しき礼節と絆」を描く感涙のヒューマンドラマ。10月上旬から全国で上映される。多くの同窓生の皆さんに鑑賞いただきたい。（詳しい記事を知道会ホームページでも公開予定）

【事務局だより】

弘道館から水戸一高までの三の丸歴史ロード周辺が、水戸市歴史的風致維持向上計画の一環としてH26.7からH27.3にかけて道路工事中です。水戸三高横の坂（市道上市205号線）と水戸二中横の坂（206号線）が全面通行止めのため、水戸一高、知道会に車でお越しの際は、弘道館側または水戸日赤側からの出入りとなります。徒歩の場合は、通行可です。ご注意ください。

物 故 者 (H26.4～H26.8 迄にご連絡を頂いた方を掲載しました。)

| | | | | | | | |
|------|----------|------|-------|-----|----------|-----|-----------|
| 旧職員 | 瀬谷耕作 | 昭20中 | 平野進司 | 昭25 | 川又 勇 | 昭34 | 中川原光政 |
| 旧職員 | 瀬谷丈夫 | 昭20中 | 上野涛夫 | 昭25 | 宮脇磊介 | 昭34 | 福田 勇 |
| 昭9中 | 平野宰次 | 昭20中 | 大澤 勇 | 昭26 | 高島正一 | 昭36 | 早川光明 |
| 昭10中 | 長谷川惣兵衛 | 昭20中 | 関根岩雄 | 昭26 | 榎本(岡野)英輔 | 昭37 | 鈴木賢治 |
| 昭12中 | 佐久間重光 | 昭20中 | 根本忠雄 | 昭27 | 鈴木健一 | 昭37 | 長山 瑛 |
| 昭14中 | 花井 正 | 昭21中 | 稲野辺瑞雄 | 昭27 | 渡辺(宮内)雄三 | 昭37 | 薄井文隆 |
| 昭15中 | 宮原(小川)亀三 | 昭21中 | 江口 魁 | 昭28 | 柏 正浩 | 昭37 | 山形繁美 |
| 昭15中 | 林 政義 | 昭21中 | 中田敏郎 | 昭28 | 益子陽次郎 | 昭37 | 佐藤勝也 |
| 昭15中 | 山本定男 | 昭22中 | 青木成昭 | 昭29 | 坂口全良 | 昭37 | 坂本巨通 |
| 昭17中 | 朝倉善男 | 昭22中 | 井上 泉 | 昭29 | 阿久津明男 | 昭37 | 福田鋭太 |
| 昭17中 | 宇野 輝 | 昭22中 | 坂井良成 | 昭29 | 近藤智雄 | 昭38 | 茂木(河原井)洋子 |
| 昭17中 | 方喰 良 | 昭23中 | 川上 博 | 昭29 | 若林健二 | 昭38 | 雨ヶ谷洋 |
| 昭17中 | 田村 穰 | 昭23中 | 野口泰彦 | 昭29 | 小池一之 | 昭38 | 須能正和 |
| 昭17中 | 寺門文男 | 昭23中 | 桧山公彦 | 昭30 | 佐藤光正 | 昭39 | 佐川 彪 |
| 昭17中 | 中村 栄 | 昭23中 | 安見 章 | 昭31 | 薄井 勲 | 昭39 | 川崎和夫 |
| 昭18中 | 小松崎徹 | 昭23中 | 梁田一春 | 昭31 | 海老原雍夫 | 昭39 | 下山田信 |
| 昭18中 | 安達(中川)輝二 | 昭23中 | 小林五郎 | 昭31 | 春田義信 | 昭40 | 桑名昭夫 |
| 昭18中 | 中村康雄 | 昭23中 | 安藤 均 | 昭32 | 浮辺靖彦 | 昭44 | 田所清明 |
| 昭18中 | 林 光雄 | 昭24中 | 粉川 登 | 昭32 | 結城 司 | 昭44 | 根本秀樹 |
| 昭18中 | 古川章三 | 昭24 | 坂井良成 | 昭33 | 郡司 脩 | 昭45 | 平間(小島)みえ子 |
| 昭19中 | 鈴木 敬 | 昭24 | 野口泰彦 | 昭33 | 中村忠夫 | 昭46 | 横須賀崇 |
| 昭20中 | 朝比奈陪夫 | 昭24 | 安見 章 | 昭33 | 横須賀俊六 | 昭55 | 関根裕史 |
| 昭20中 | 磯 房重 | 昭25 | 會澤 等 | 昭34 | 松田健之助 | | |